

2	法定	自主
	○	

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 24 日

神奈川県知事 殿

提出者

住所 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-5 住友不動産  
新横浜ビル3階  
氏名 住友不動産ハウジング㈱ 新築そっくりさん事業本部  
首都圏事業部 戸建て 神奈川エリア統括 佐藤 雅美  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 050-3112-7216

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友不動産ハウジング株式会社 新築そっくりさん事業本部 首都圏事業部 横浜エリア		自主管理事業登録番号 ( 2750 )
事業場の所在地	神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-5 住友不動産新横浜ビル3階		TEL(連絡先): 050-3112-7216
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年間)		
当該事業場に関する事項			
① 事業の種類	D-建設業 (具体的には) 総合工事業		
② 事業の規模  ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	5,300 百万円
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)		
③ 従業員数	57		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程  ※ 産業廃棄物の種類ごとに記入	○廃プラ →圧縮 →原料化 ○紙くず →破碎 →原料化 ○木くず →破碎 →原料化 ○繊維くず →破碎 →原料化 ○金属くず →破碎 →原料化 ○ガラス・コンクリート・陶磁器くず →破碎・圧縮 →再資源化 ○がれき類 →破碎 →再生砕石 ○混合廃棄物その他 →焼却 →管理埋め立て		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

エリア統括 処理計画統括責任者  
↓  
工事検査担当 処理計画作成担当  
産業廃棄物担当  
↓  
現場統括責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和6年度)実績】
	産業廃棄物の種類数 8 種類 * 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。 ① 排出量 2,046.4 t
	(これまでに実施した取組)
	梱包材を減らす。不要な材料を搬入させず、また使用させない事により廃棄物を出させないようにする。
② 計画	【(令和7年度)目標】
	産業廃棄物の種類数 8 種類 * 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。 ① 排出量 1,841.7 t
	(今後実施する予定の取組)
	本事業はリフォーム工事の為、解体工事を極力抑え重ね張りを推奨する。

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①廃プラ類②紙くず③木くず④繊維くず⑤金属くず⑥ガラス・コンクリ・陶磁器くず⑦がれき類
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度(令和6年度)実績】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	0	t	* 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
② 計画	【(令和7年度)目標】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	特になし			
	特になし			

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度(令和6年度)実績】			
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	0	t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
② 計画	【(令和7年度)目標】			
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
	特になし			
	特になし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和6年度)実績】			
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)			
	特になし			
② 計画	【(令和7年度)目標】			
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)			
	特になし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和6年度)実績】			
	⑩ 全処理委託量	2,046.4	t	* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	613.2	t	
	⑫ 再生利用者への処理委託量	132.8	t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	33.5	t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	196.9	t	
	(これまでに実施した取組)			
	委託基準を遵守出来る業者を選定しており、定期的に処理状況の現地確認を行っている。			

② 計画	【(令和7年度)目標】			* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑩ 全処理委託量	1,841.7	t	
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	557.3	t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	123.1	t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	26.4	t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	177.2	t	
	(今後実施する予定の取組)			
	電子manifestを導入しており、対応可能な処理業者であるとともに優良認定処理業者から選定している。委託処理業者に対しては、引き続き定期的に処理状況の現地確認を行う。			
※ 事務処理欄				

備考

- 1 この様式は、前年度(令和6年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。  
また、前年度(令和6年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和7年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

産業廃棄物処理計画書

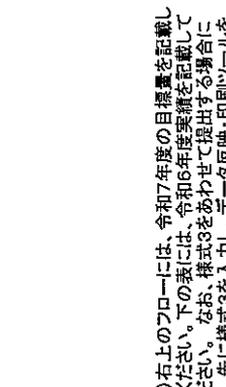
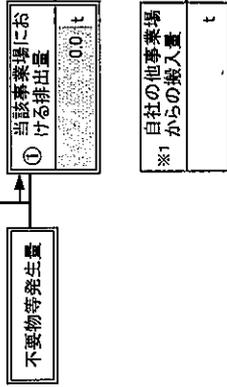
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

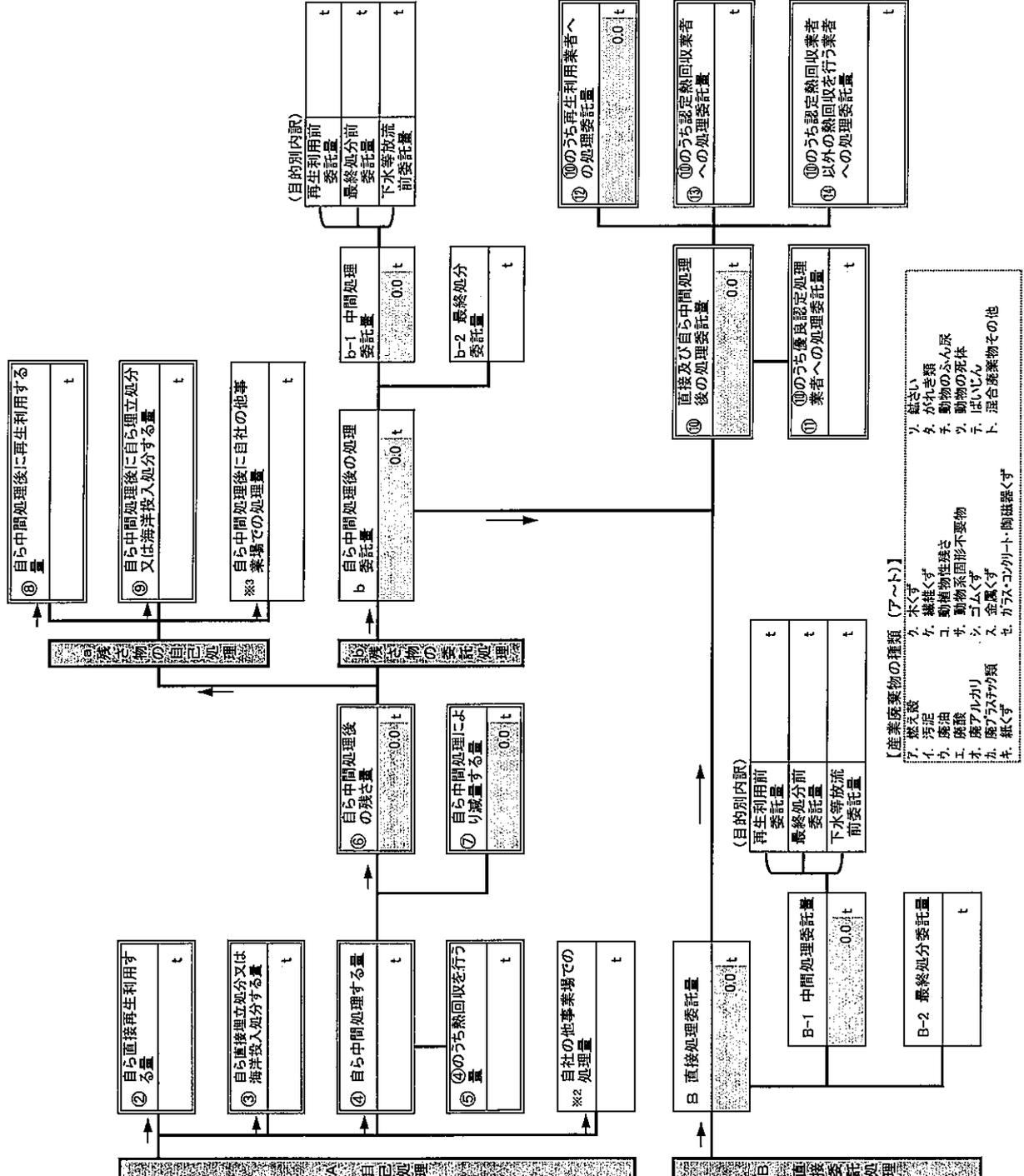
(単位:t/年)



項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

事業場名称: 住友不動産ハウジング株式会社 新築そっくりさん事業本部



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 木くず
  - ケ. 繊維くず
  - コ. 動物性残渣
  - サ. 動物系固形不燃物
  - シ. ゴムくず
  - ス. 金属くず
  - セ. プラスチック類
  - ソ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - タ. 灰
  - チ. 灰
  - テ. ばいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

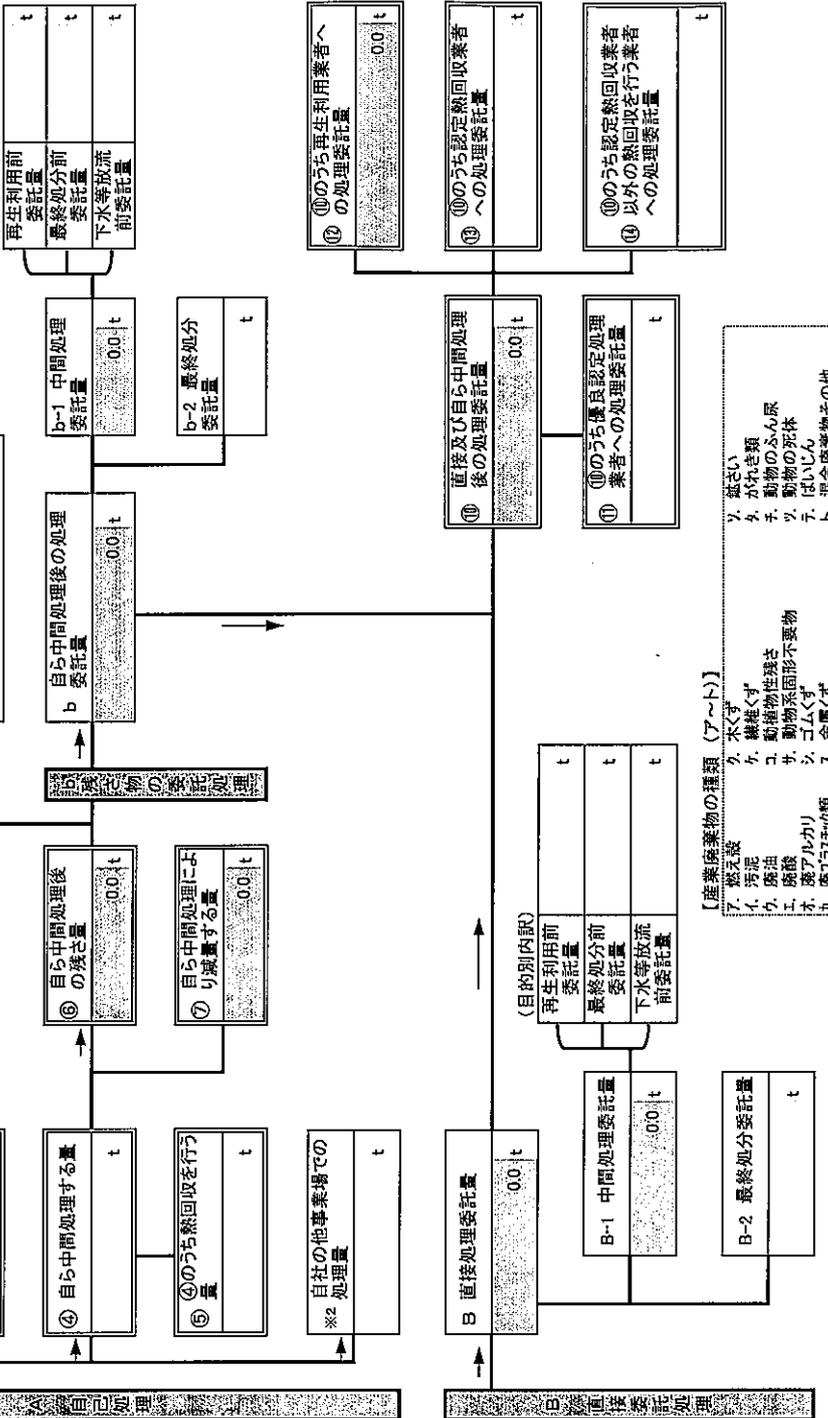
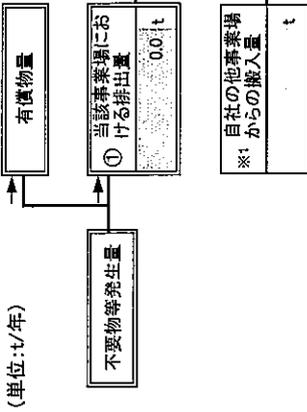
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類  
イ. 汚泥

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 粉塵
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃アルカリ
- オ. 廃プラスチック類
- カ. 紙くず
- ク. 木くず
- ケ. 繊維くず
- コ. 動物性残渣
- ク. 動物のふん尿
- ケ. 動物の死体
- コ. ゴムくず
- サ. 金属くず
- シ. 廃ガラス
- ス. 廃プラスチック類
- セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. 灰塵
- タ. がれき類
- チ. 動物の死体
- ツ. ばいじん
- テ. 混合廃棄物その他

注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載していただき、下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用することから数値が反映されます。

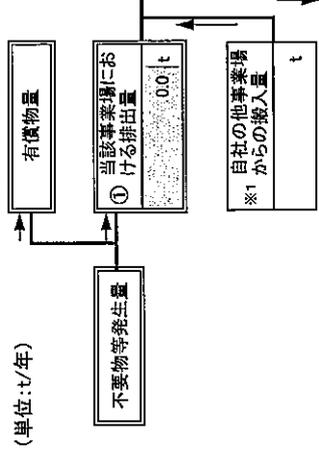
項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
⑧+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

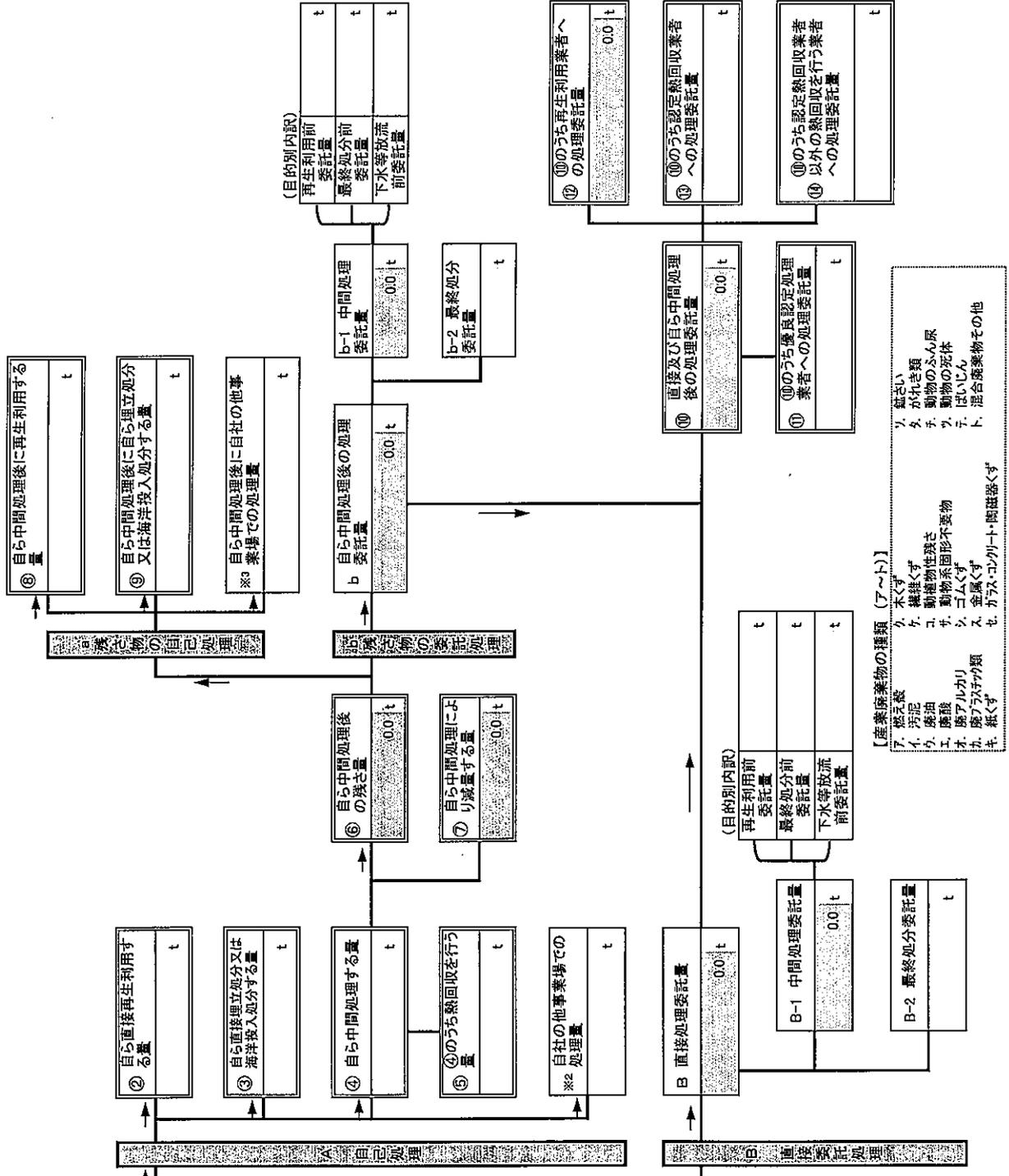
ウ. 廃油  
 フローに記載した産業廃棄物の種類  
 ※ 未用紙等は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。  
 (単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとごちらに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 再生利用者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑯ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称: 株式会社 新築づくり 首都圏事業部 横浜エリア



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 樹皮
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 紙くず
  - キ. 繊維くず
  - ク. 木くず
  - ケ. 動植物性残渣
  - コ. 動物系固形不燃物
  - サ. ばいじん
  - シ. 金属くず
  - ス. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - セ. 磁石
  - ソ. 磁石以外の鉄屑
  - タ. 動物のふん尿
  - チ. 動物の死体
  - テ. ばいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

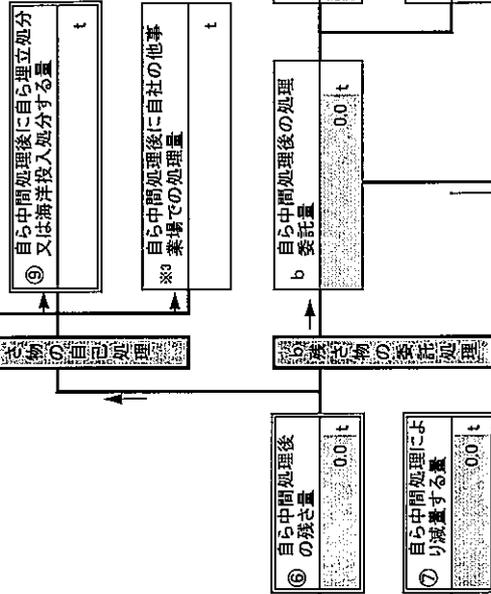
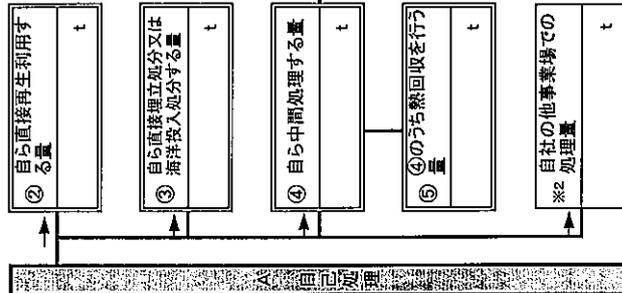
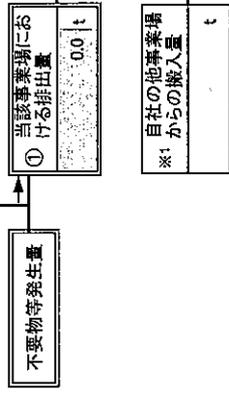
別紙処理フロー一

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



(目的別内訳)

再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和7年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

(目的別内訳)

再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

直接処理委託量	0.0 t
B-1 中間処理委託量	0.0 t
B-2 最終処分委託量	t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	t
⑩のうち再生利用者への処理委託量	t
⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量	t
⑩のうち熱回収を行う業者への処理委託量	t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 汚酸
- エ. アルカリ
- オ. 廃プラスチック類
- カ. 紙くず
- キ. 繊維くず
- ク. がれき類
- ケ. 動物性骨炭
- コ. 動物性廃棄物
- サ. 金属くず
- シ. 金属類
- ス. 紙くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. 鉱さい
- タ. 有機溶剤
- チ. 動物の死体
- ツ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

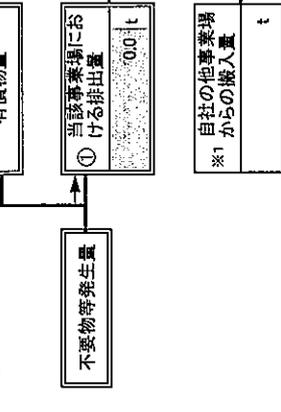
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 未記載は産業廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

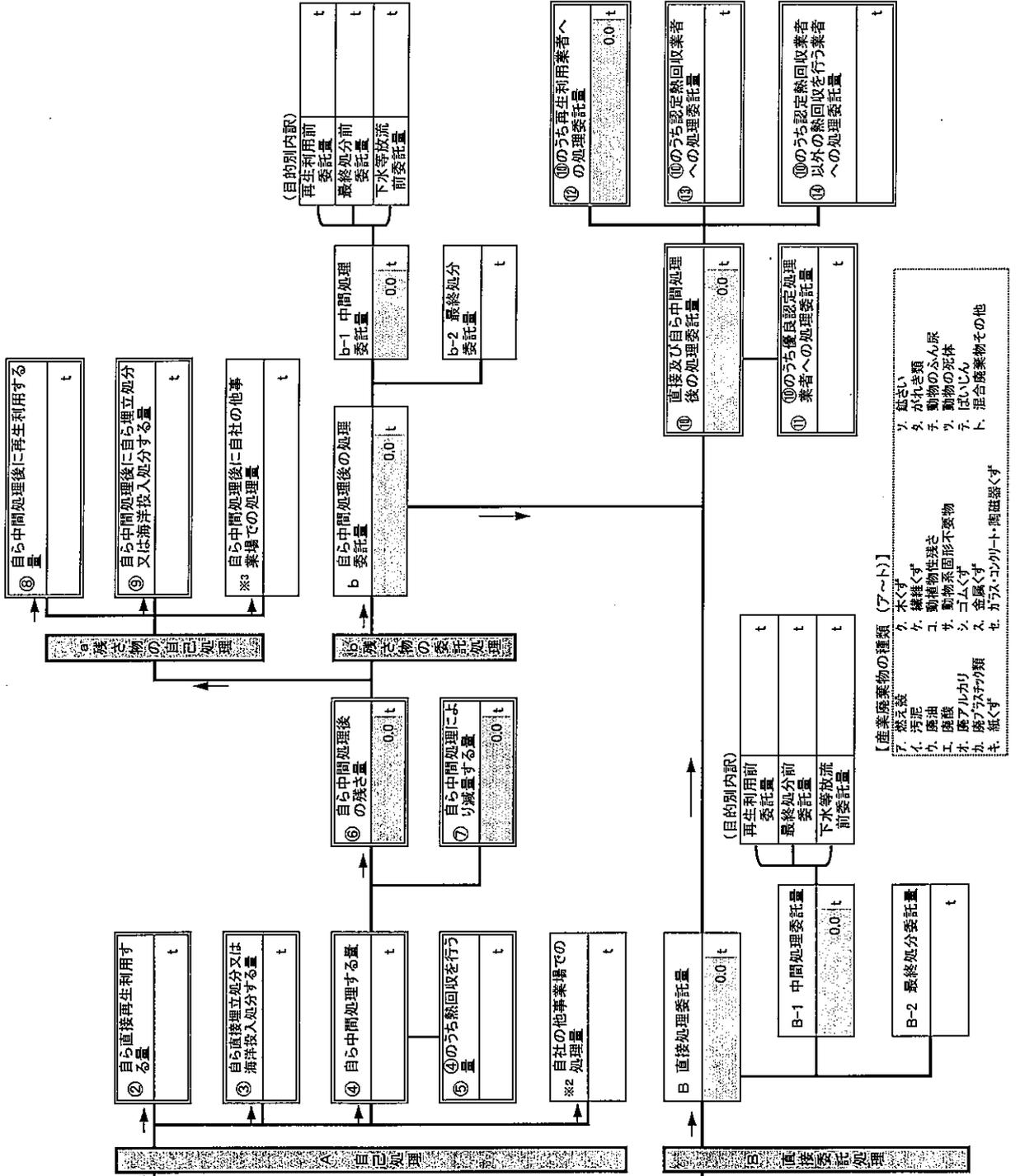
(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称: 住友不動産ハウジング株式会社 新築そっくりさん事業本部 首都圏事業部 横浜エリア



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 灰塵
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 廃プラスチック類
- キ. 繊維くず
- ク. 金属くず
- ケ. 動物性残渣
- コ. 動物系固形不燃物
- サ. ゴムくず
- シ. スチールくず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. ぬい
- タ. がれき類
- チ. 動物のふん尿
- リ. 動物の死体
- ニ. ばいじん
- ト. 混入廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

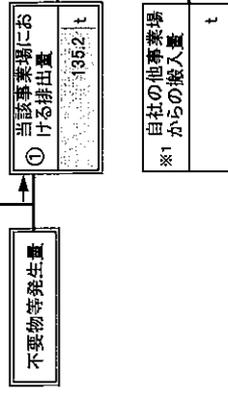
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類  
カ. 廃プラスチック類

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

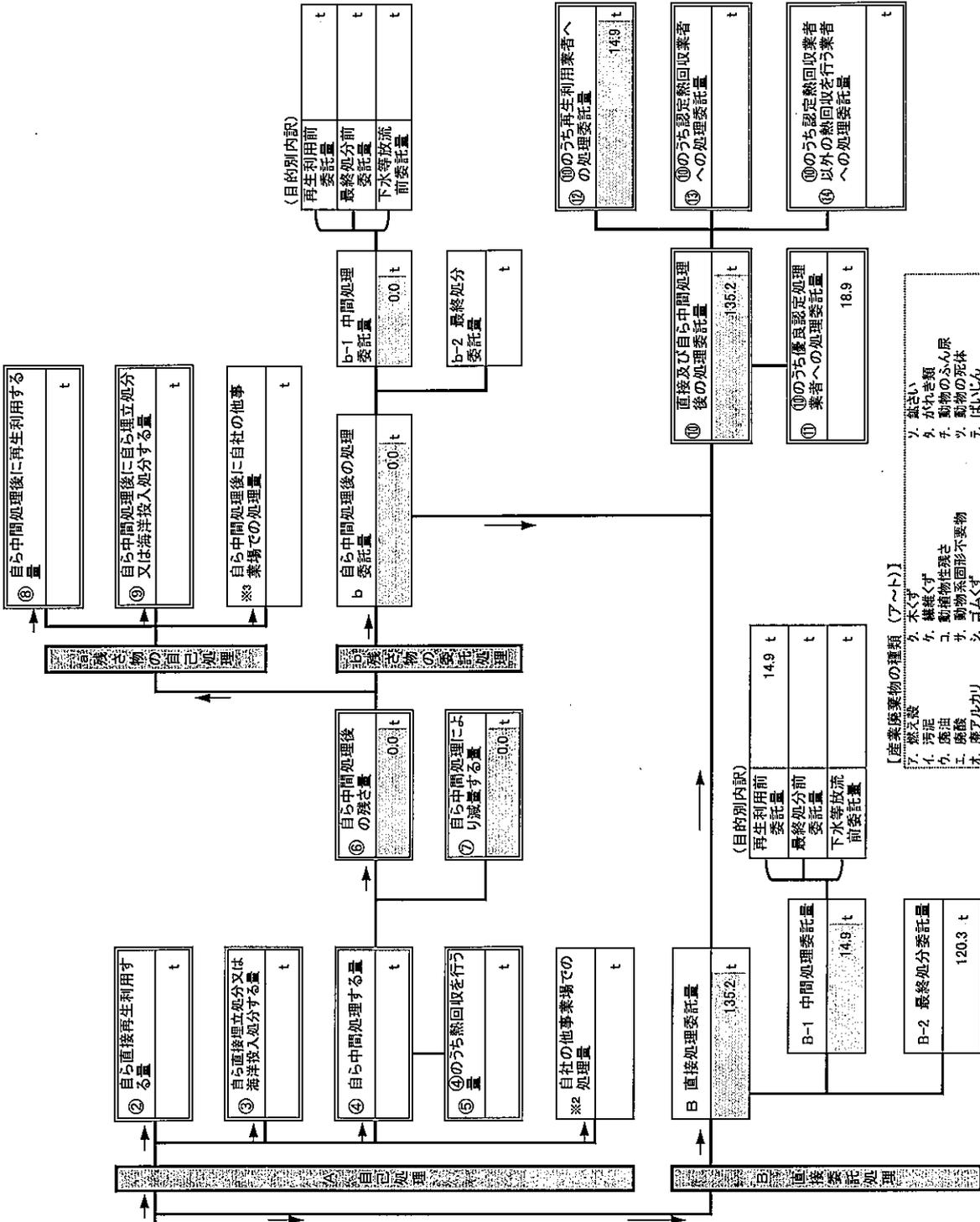
(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、構式3をあわせて提出する場合には、先に構式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	150.2 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
⑨+⑩ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	150.2 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	21.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	16.5 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称: 住友不動産ハウジング株式会社 新築そっくりさん事業本部 首都圏事業部 横浜エリア



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 不燃物
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 繊維くず
  - ケ. 動物性残渣
  - コ. 動物系固形不要物
  - サ. 金属くず
  - シ. 金属屑
  - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. ぬい
  - タ. がれき類
  - チ. 動物の死体
  - リ. ぼじん
  - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

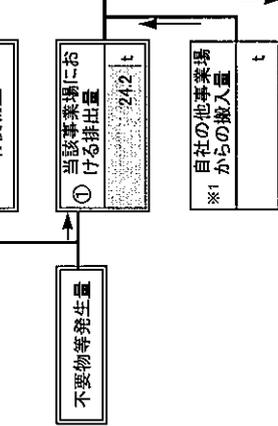
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

【紙くず】には未燃指定があり、該当業務以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
 【該当業務】は紙くずの種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

※ 本用紙は紙くずの種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

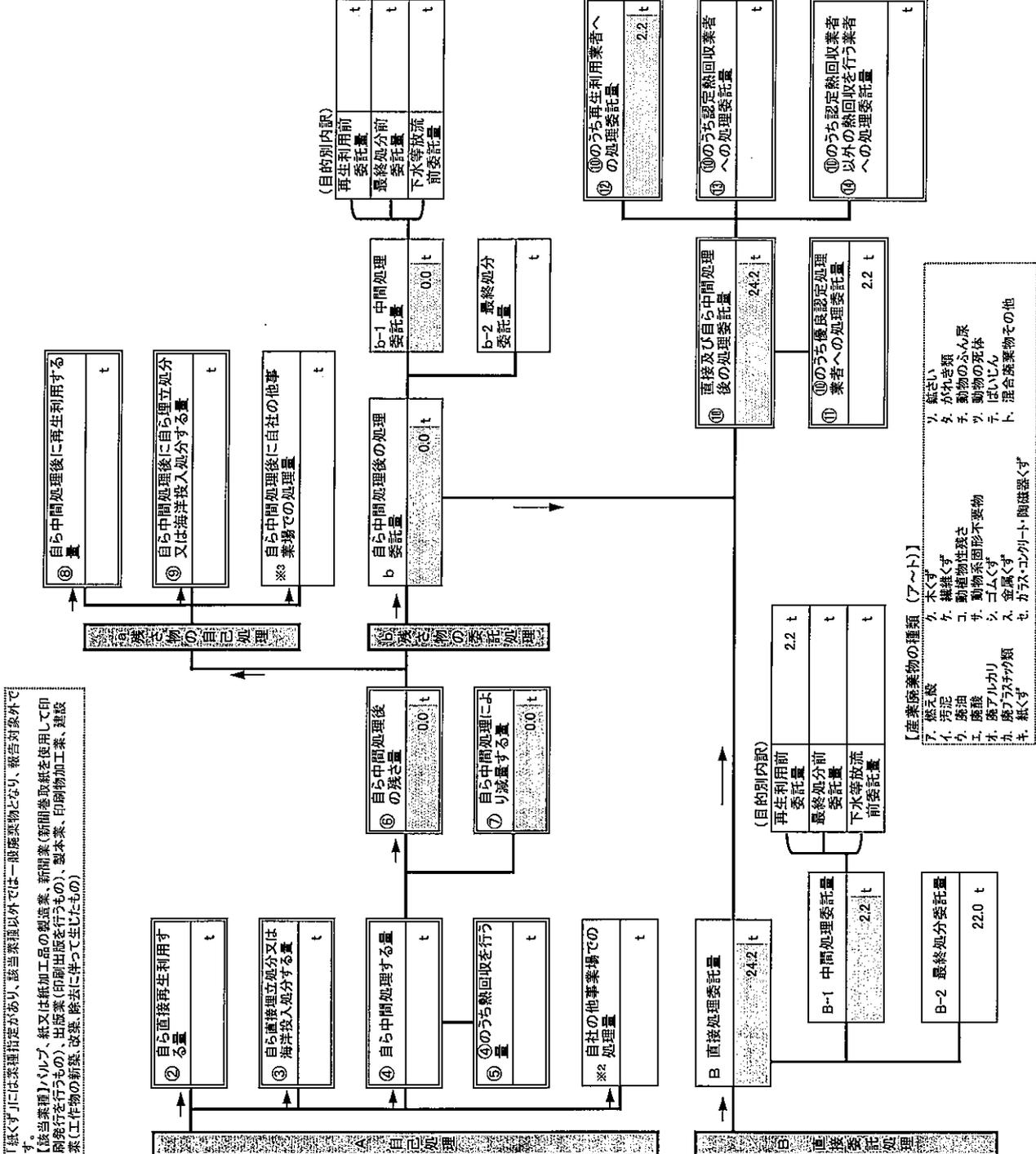
(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	26.9 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	26.9 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	2.4 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	2.7 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称: 住友不動産ハウジング株式会社 新築そっくりさん事業本部 首都圏事業部 横浜エリア



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 紙くず
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 繊維くず
- ク. 動物性残渣
- コ. 動物糞尿
- サ. 動物死体
- シ. ゴムくず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. 雑草
- タ. 汚泥
- チ. 動物の死体
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

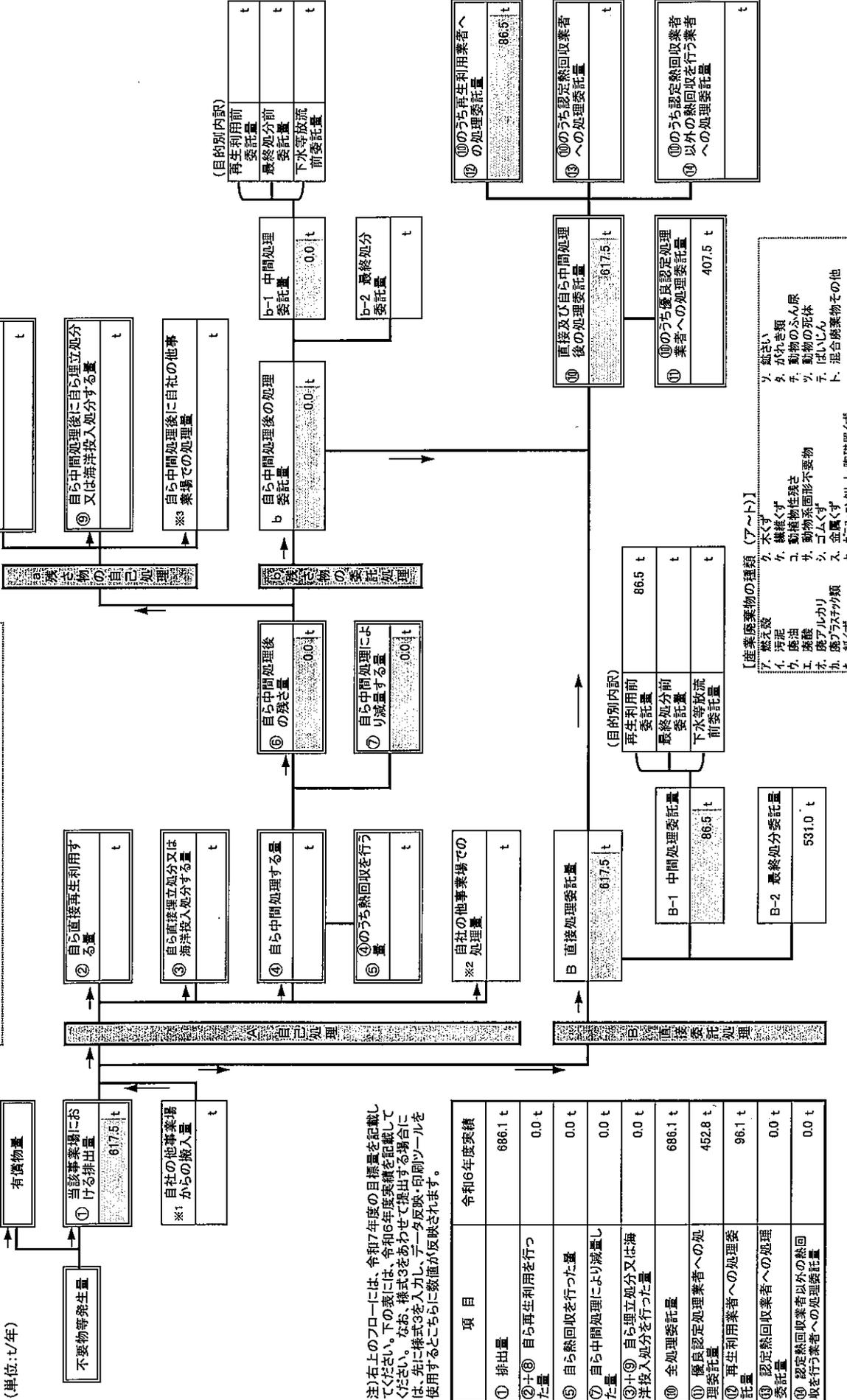
令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類  
ク、木くず  
有償物量  
① 当該事業場における排出量 617.5 t  
※1 自社の他事業場からの搬入量 t

② 自ら直接再生利用する量 t  
③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量 t  
④ 自ら中間処理する量 t  
⑤ ④のうち熱回収を行う量 t  
※2 自社の他事業場での処理量 t

⑥ 自ら中間処理後の残存量 0.0 t  
⑦ 自ら中間処理による減量する量 0.0 t  
⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量 t  
⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量 t  
※3 現場での処理量 t

⑩のうちの再生利用業者への処理委託量 86.5 t  
⑩のうちの認定熱回収業者への処理委託量 t  
⑩のうちの認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 t



【木くず】には希聖指定等があり、該当事業場以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
【該当産業】木材又は木製品の製造業(家具製造業を含む)、パルプ製造業、輸入木材の卸売業及び物品買付業に係るもの、建設業(工作物の新築、改装、除去に伴って生じたもの)。  
【全量焼却対象】貴物の種類のために使用したパレット(パレットへの買物の積付けのために使用したパレット)の木材を含む。

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】  
ア、燃え殻  
カ、木くず  
ク、繊維くず  
ケ、汚泥  
コ、動植物性残渣  
サ、動物系固形不燃物  
シ、スス  
ス、金属くず  
セ、ガラス・コンクリート・陶磁器くず  
ソ、ぬい  
タ、がねくず  
チ、動物の死体  
ツ、ばいじん  
ト、混合廃棄物その他

項目	令和6年度実績
① 排出量	686.1 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
⑨+⑩ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	686.1 t
⑩ 優良認定処理業者への処理委託量	462.8 t
⑩ 再生利用業者への処理委託量	96.1 t
⑩ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑩ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

産業廃棄物処理計画書

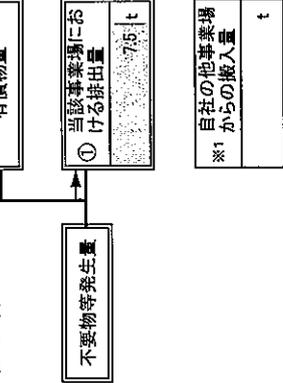
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

「継続くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
 【該当業種】繊維工業(衣類その他の繊維製品製造業を除く)、建設業(工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの)

※ 本川原は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

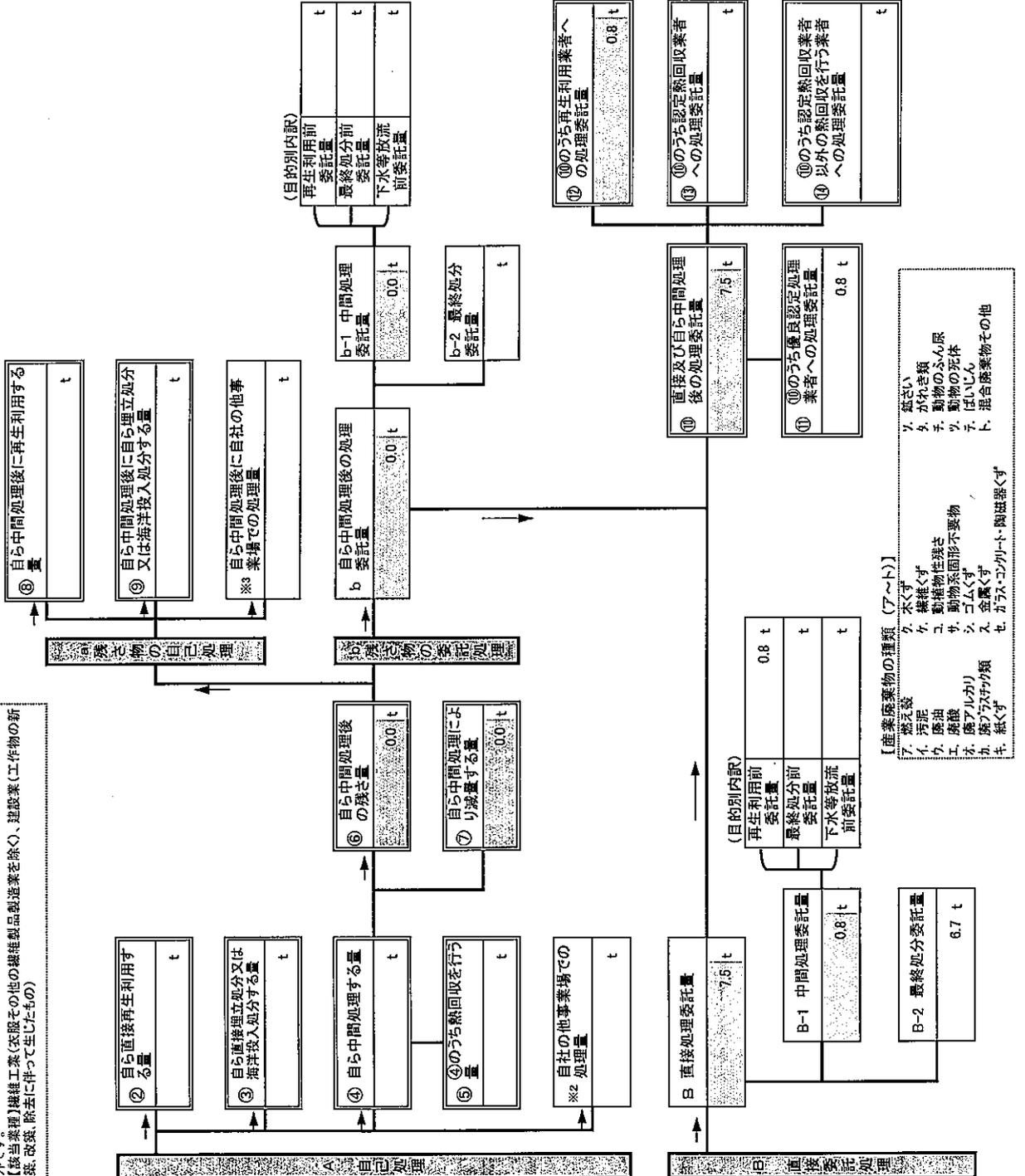


注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	8.4 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	8.4 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	2.7 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称: 住友不動産パワージング株式会社 新築そっくりさくら事業本部 首都圏事業部 横浜エリア

2-2 法定 自主



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア 燃え殻
- イ 汚泥
- ウ 廃油
- エ 廃酸
- オ 廃アルカリ
- カ 廃プラスチック類
- キ 紙くず
- ク 繊維くず
- ケ 金属くず
- コ 動物性残渣
- ク サ 動物系固形不燃物
- シ 石膏くず
- ス 金属くず
- セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ 灰塵
- タ 灰
- チ 動物のふん尿
- テ ばいじん
- ト 混合廃棄物その他



産業廃棄物処理計画書

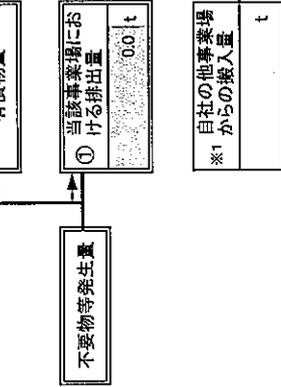
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

「動物系固形不要物」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。

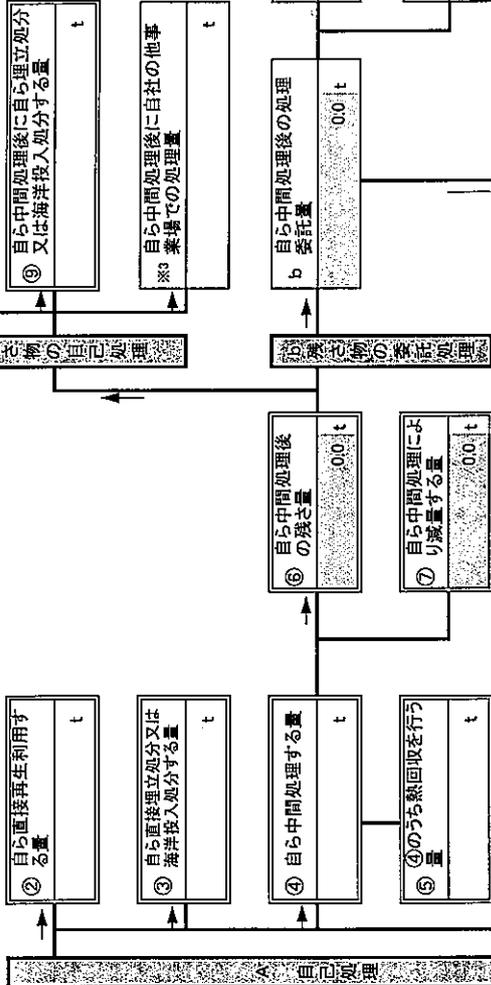
【該当業種】と題項においてとさつし、又は解体した獣畜及び食鳥処理場において食鳥処理をした食鳥に係る固形状の不要物

(単位: t/年)



「動物系固形不要物」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。

【該当業種】と題項においてとさつし、又は解体した獣畜及び食鳥処理場において食鳥処理をした食鳥に係る固形状の不要物



注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃やさない
- イ. 汚泥
- ウ. 廃酸
- エ. 廃アルカリ
- オ. 廃プラスチック類
- カ. 紙くず
- キ. 繊維くず
- ク. 動物系固形不要物
- コ. 動物系固形不要物
- サ. ゴムくず
- シ. 金属くず
- ス. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- セ. 混合廃棄物その他
- ソ. がれき類
- タ. 動物のふん尿
- チ. 動物の死体
- ツ. ばいじん
- テ. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

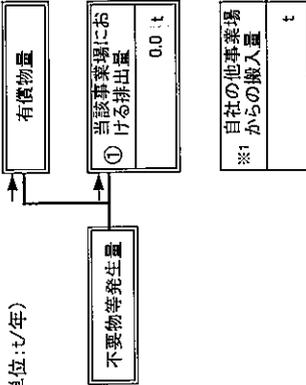
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類 シ、ゴムくず

※ 本川原は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

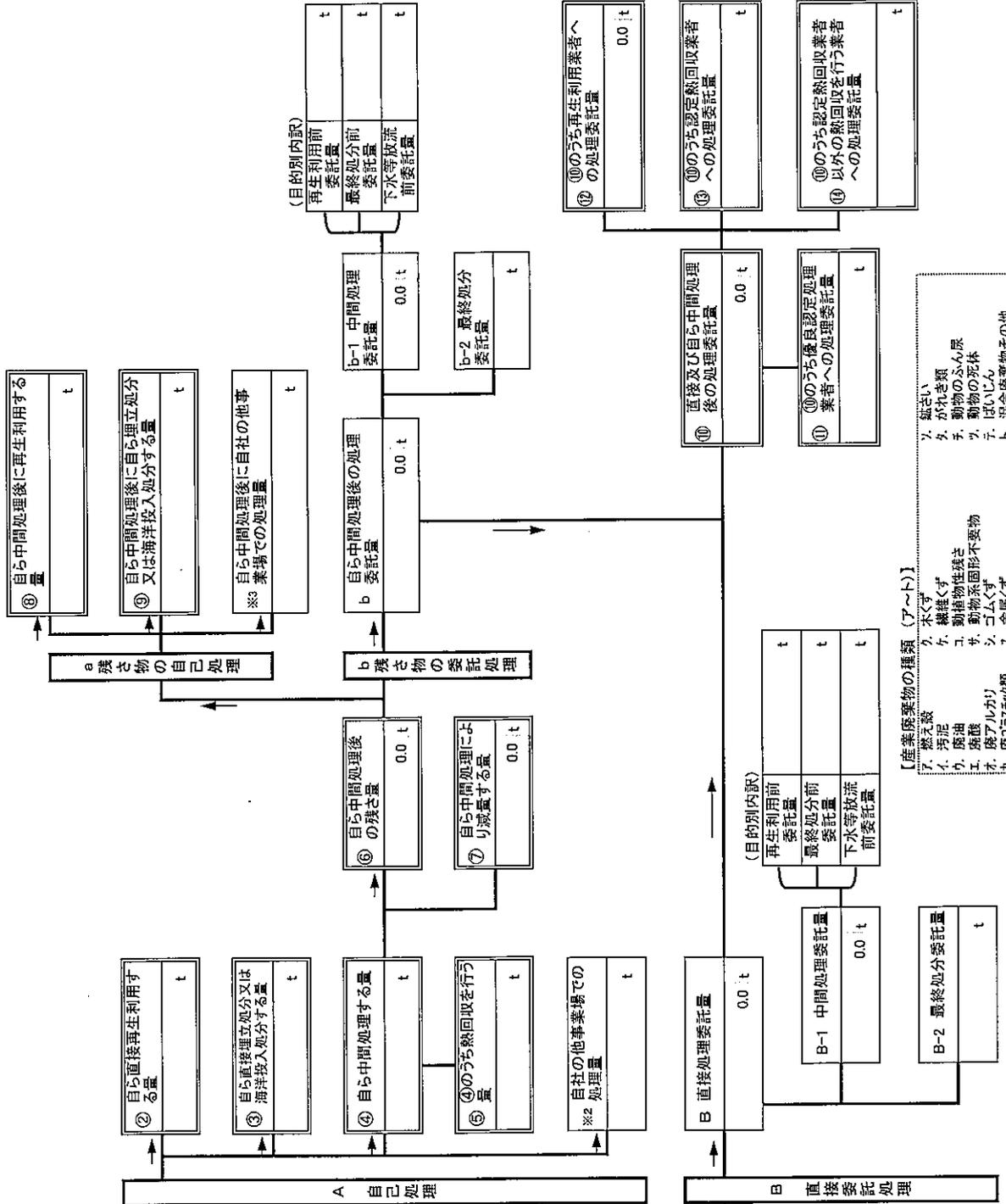
(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称 : 住友不動産ハウジング株式会社 新築そっくりさん事業本部 首都圏事業部 横浜エリア



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

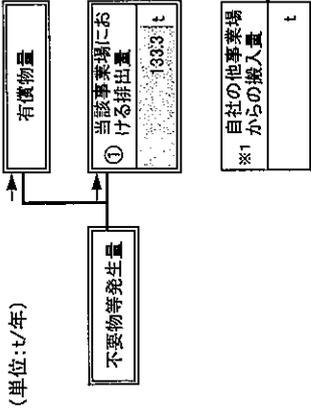
- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 灰燼
- エ. エ. エ. エ.
- オ. 廃アルカリ
- カ. 紙くず
- キ. 繊維くず
- ク. 動物性残渣
- コ. 動物性脂肪
- サ. 金属くず
- シ. ゴムくず
- ス. 廃プラスチック類
- セ. カラス・コウライ・両足器くず
- ソ. ぬい
- タ. がれき類
- チ. 動物のふん尿
- ツ. 動物の死体
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

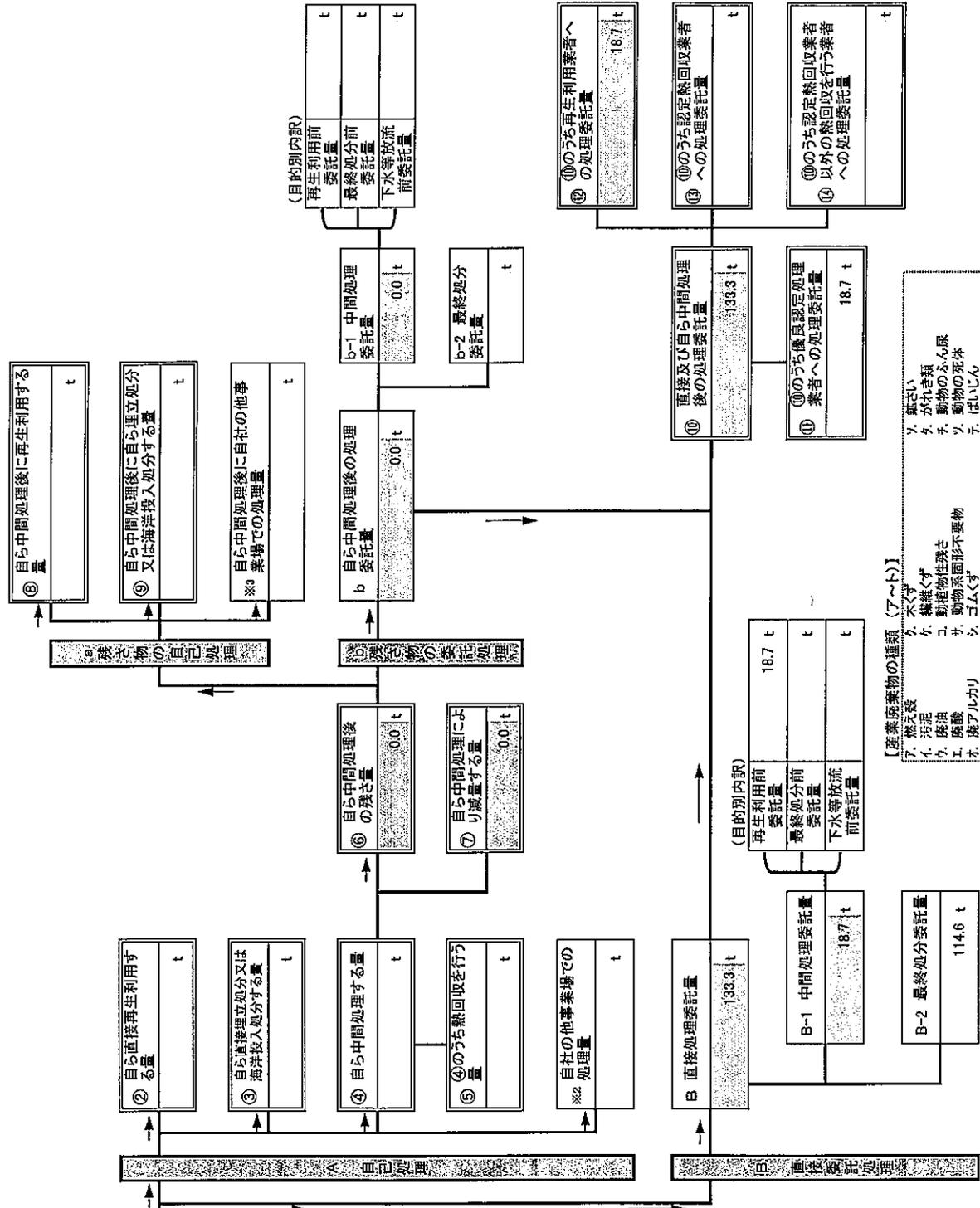
【産業廃棄物の種類】  
 ① 当該事業場における排出量  
 ※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。  
 (単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	148.1 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	148.1 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	14.8 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	14.8 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称: 住友不動産ハウジング株式会社 新築そっくりさの事業本部 首都圏事業部 横浜エリア



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 廃棄物
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 繊維くず
  - ケ. 動植物性残渣
  - コ. 動植物系固形不燃物
  - サ. シス
  - シ. ゴムくず
  - ス. 金属くず
  - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. 銅くず
  - タ. がれき類
  - チ. 動物のふん尿
  - テ. 動物の死体
  - ト. ばいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

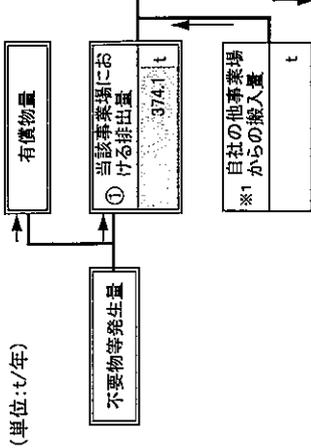
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業セ、ガラス・コンクリート・陶磁器く  
廃棄物の種類  
※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃  
棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

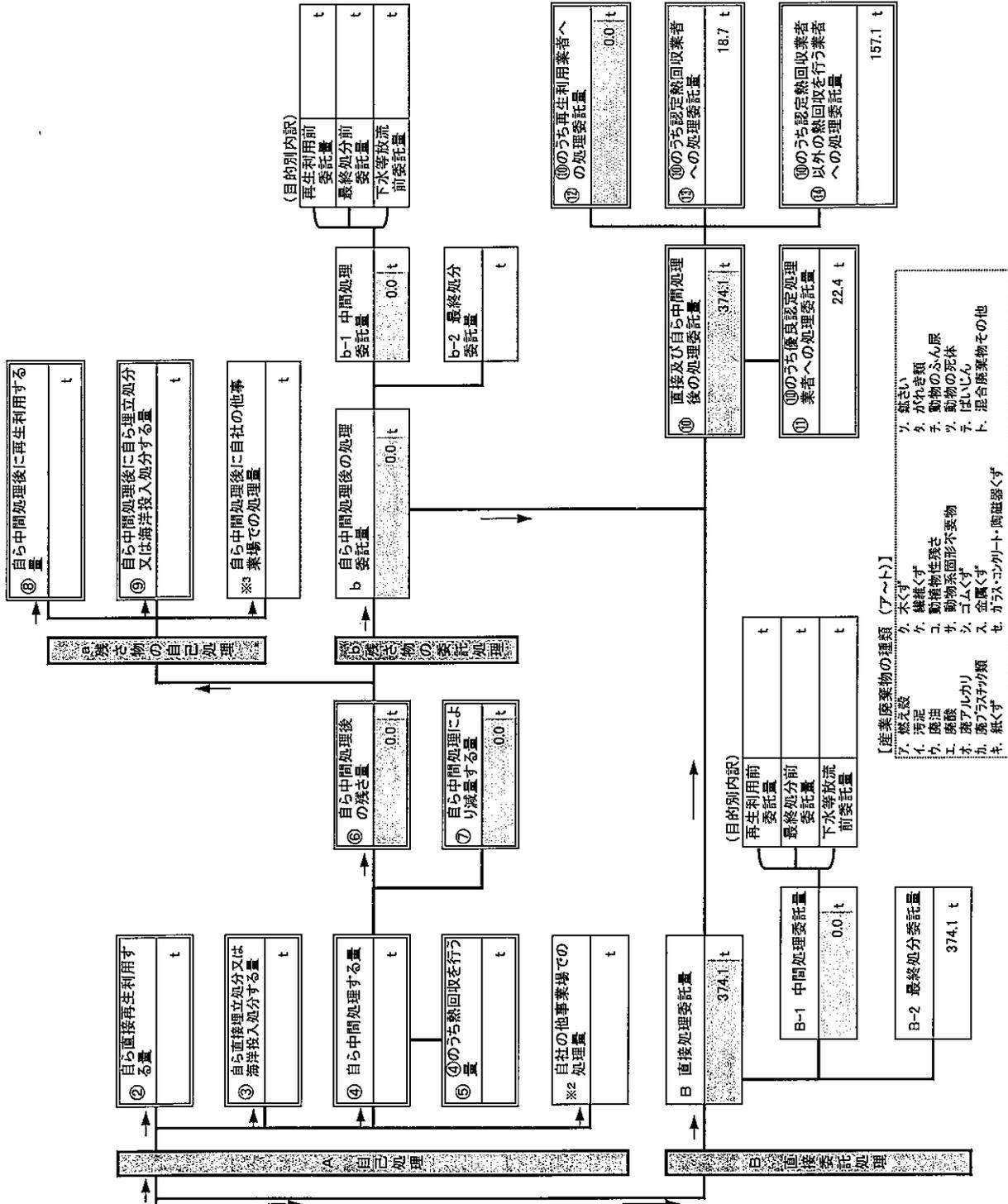


注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載して  
ください。下の表には、令和6年度実績を記載して  
ください。なお、様式3をあわせて提出する場合は、  
先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを  
使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	415.7 t
②+⑥ 自ら再生利用を行っ た量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量し た量	0.0 t
⑧+⑩ 自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	415.7 t
⑪ 優良認定処理業者への処 理委託量	24.9 t
⑫ 再生利用者への処理委 託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理 委託量	24.9 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託量	174.6 t

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称: 住友不動産ハウジング株式会社 新築そっくりさん事業本部 首都圏事業部 横浜エリア



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 繊維くず
  - キ. 紙くず
  - ク. 金属くず
  - ケ. 陶磁器類
  - コ. 陶磁器類
  - サ. 動物の死体
  - シ. 金属くず
  - ス. 金属くず
  - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. ぬい
  - タ. がれき類
  - チ. 動物の死体
  - テ. ぼいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

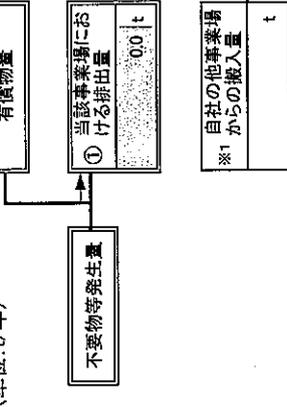
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

【産業廃棄物の種類】

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる種類の産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和7年度は、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、排気3を合わせて提出する場合は、先に排気3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用すると同時に数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑤ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
⑥+⑦ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑮ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑯ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑰ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 廃プラスチック類
- キ. 紙くず
- ク. 木くず
- ケ. 繊維くず
- コ. 動物性残渣
- サ. 動物系固形不燃物
- シ. コムくず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. 鉱さい
- タ. がれき類
- チ. 動物のふん尿
- ツ. 動物の死体
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他

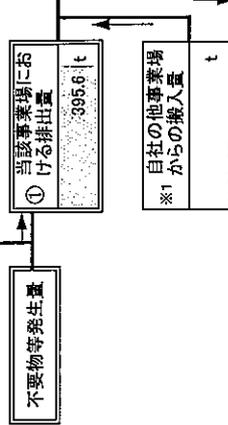
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類  
 タ、がれき類  
 ※ 不燃物は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

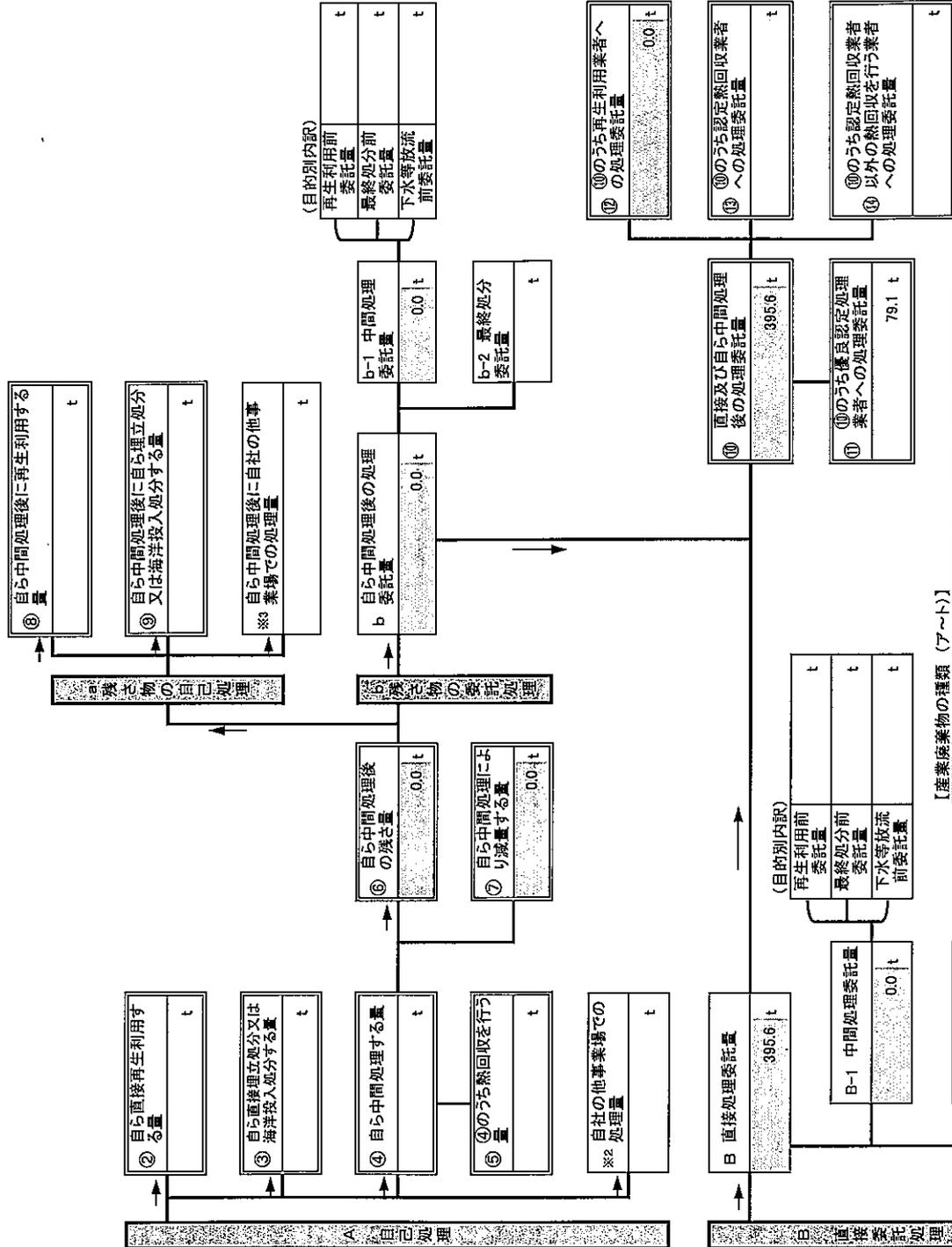
(単位:t/年)



注) 右の上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するごときに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	439.6 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
⑨+⑩ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	439.6 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	87.9 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称：住友不動産ハウジング株式会社 新築そっくりさん事業本部 首都圏事業部 横浜エリア



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 粉塵
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. アルカリ
  - カ. 金属くず
  - キ. 繊維くず
  - ク. 動物性残渣
  - ク. 動物系固形不要物
  - ケ. スチール
  - コ. 金属くず
  - カ. コンクリート
  - セ. 陶磁器くず
  - ソ. ぬい
  - タ. がれき類
  - チ. 動物の死体
  - テ. ばいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

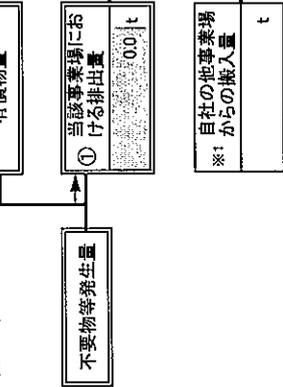
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

「動物のふん尿」に記載した産業廃棄物の種類

※ 未用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

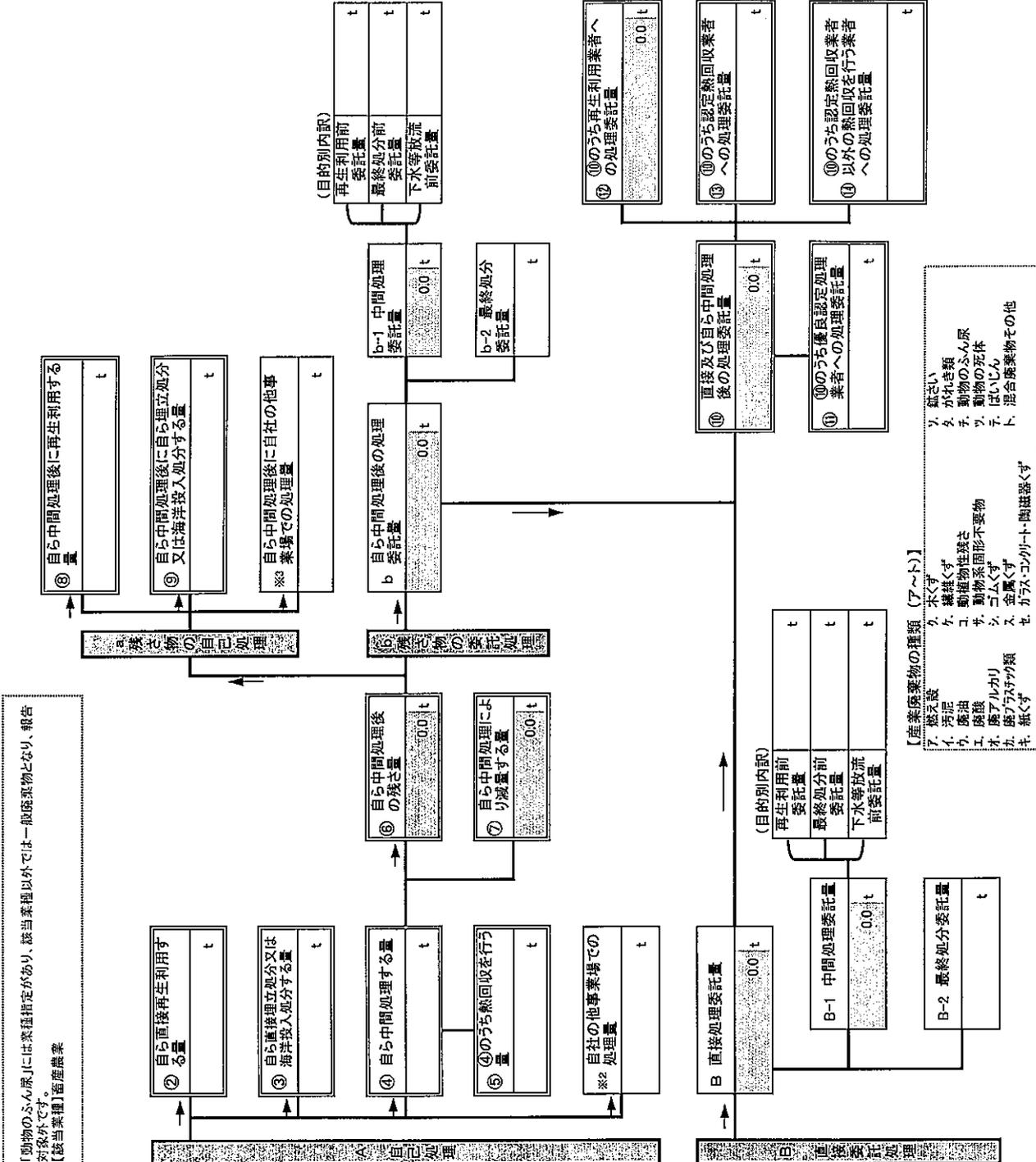
(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用すると同時に数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑤ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称: 住友不動産ハウジング株式会社 新築そっくりさん事業本部 首都圏事業部 横浜エリア



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 金属くず
  - キ. 紙くず
  - ク. 木くず
  - ケ. 繊維くず
  - コ. 動物性残さ
  - サ. 動物系固形不要物
  - シ. 金属くず
  - ス. 金属くず
  - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. ばいじん
  - タ. 粉じん
  - チ. 動物のふん尿
  - ツ. 動物の死体
  - テ. ばいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

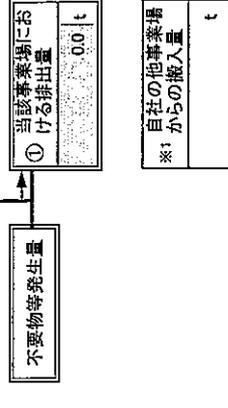
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類  
ツ、動物の死体

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



「動物の死体」には業種指定が有り、該当業種以外では一概廃棄物となり、報告対象外です。  
【該当業種】畜産農業

⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量

⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量

⑥ 自ら中間処理後の残存量

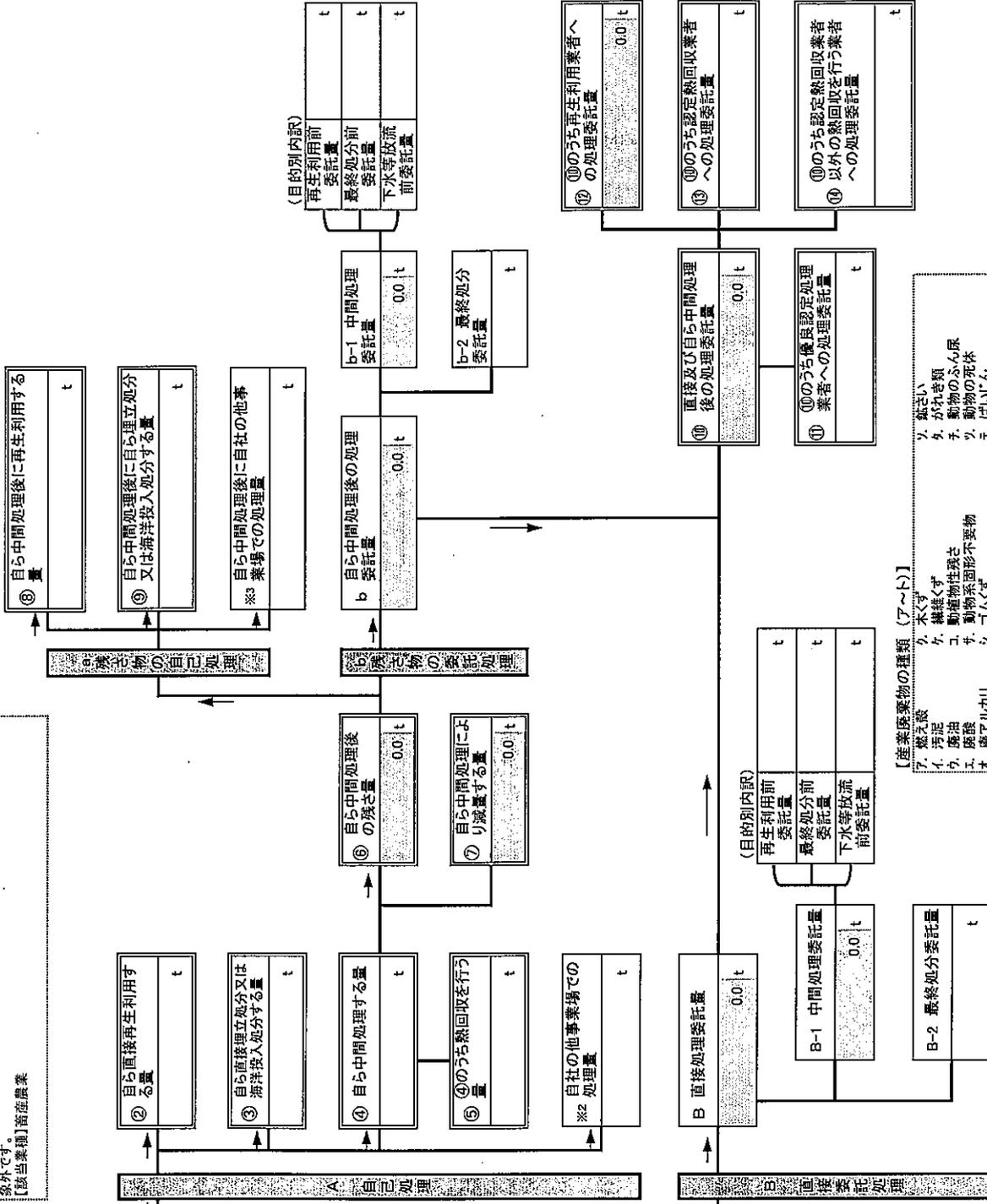
⑦ 自ら中間処理により減量する量

事業場名称: 住友不動産ハウジング株式会社 新築そっくりさん事業本部 首都圏事業部 横浜エリア

2-2 法定 自主

注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
④+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 木くず
  - ケ. 繊維くず
  - コ. 動物性残渣
  - サ. 動物系固形不要物
  - シ. スチールくず
  - ス. 金属くず
  - セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. ぬい
  - タ. がれき類
  - チ. 動物のふん尿
  - リ. 動物の死体
  - ト. はいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

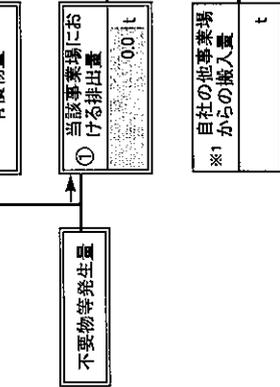
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 未用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

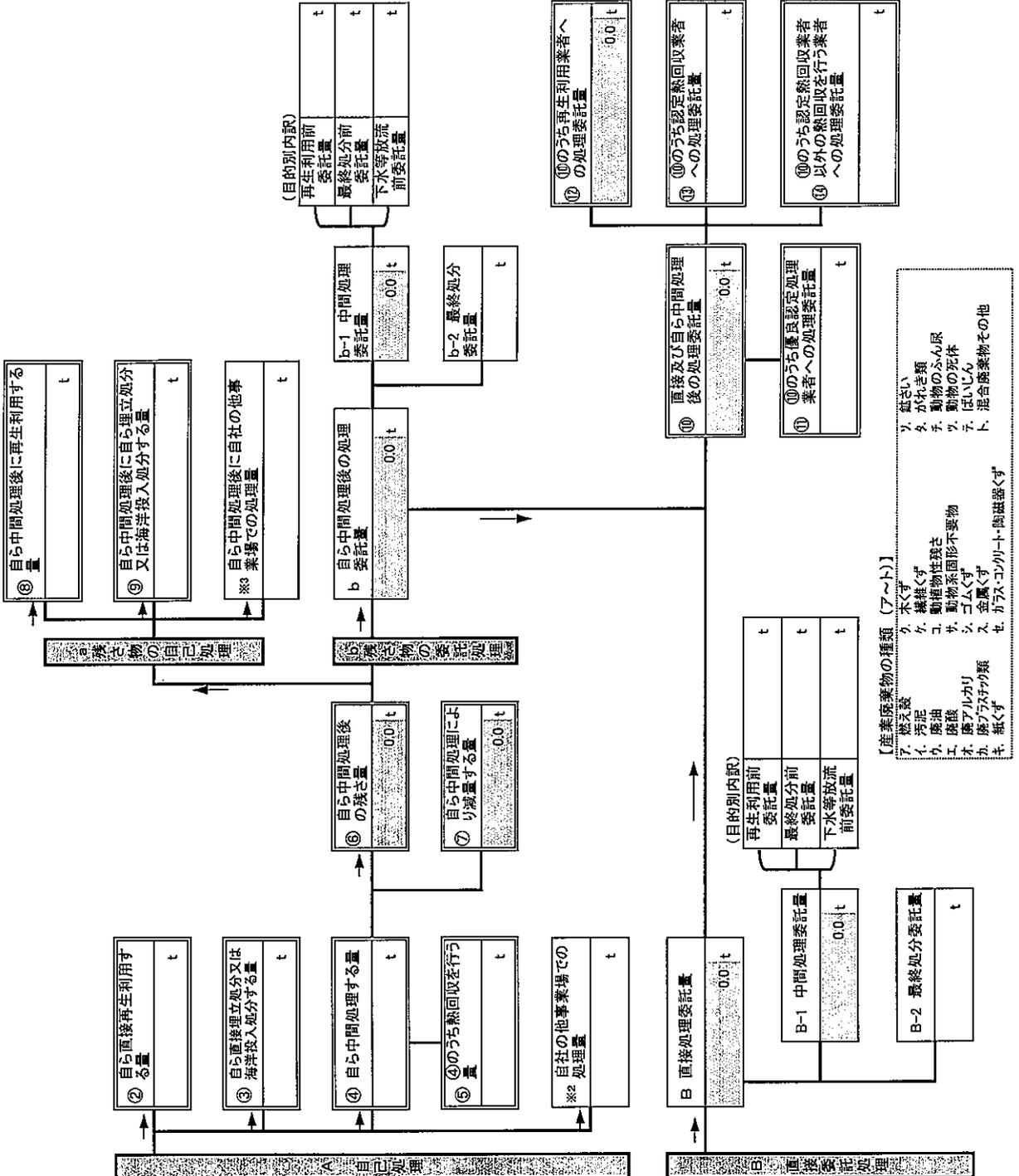
(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとともに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑤ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④+⑤ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑩ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑩ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑩ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑩ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称: 住友不動産ハウジング株式会社 新築そっくりさん事業本部 首都圏事業部 横浜エリア



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃アルカリ
- オ. 廃プラスチック類
- カ. 紙くず
- キ. 繊維くず
- ク. 金属くず
- ケ. 動物の死体
- コ. 動物のふん尿
- サ. 石膏
- シ. 金属くず
- ス. 廃プラスチック類
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. さい
- タ. がれき類
- チ. 動物の死体
- ツ. 動物の死体
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他



産業廃棄物処理計画書

別紙一括表

事業場名称: 住友不動産ハウジング株式会社 新築まつり法人営業本部 首都圏事業部 横浜エリア

項目	ア 燃え殻	イ 汚泥	ウ 廃油	エ 廃酸	オ 廃アルカリ	カ 廃プラスチック	キ 紙くず	ク 木くず	ケ 繊維くず	コ 動植物性 廃棄物	サ 動物系 固形廃棄物	シ ゴムくず	ス 金属くず	セ パソコン 周辺機器	ソ 磁さい	タ がれき類	チ 動物の ふん尿	リ 動物の 死体	ニ ばいじん	ト 混合廃棄物 その他	合計	2-1 法定		自主
																						量	単位	
① 排出量						150.2	26.9	686.1	8.4				148.1	415.7		439.6					171.4	2,046.4		
②+③ 自ら再生利用を行った量						0	0	0	0				0	0		0					0	0		
④ 自ら熱回収を行った量						0	0	0	0				0	0		0					0	0		
⑤ 自ら中間処理により減量した量						0	0	0	0				0	0		0					0	0		
⑥+⑦ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量						0	0	0	0				0	0		0					0	0		
⑧ 全処理委託量						150.2	26.9	686.1	8.4				148.1	415.7		439.6					171.4	2,046.4		
⑨ 優良認定処理業者への処理委託量						21.0	2.4	452.8	0.8				14.8	24.9		87.9					8.6	613.2		
⑩ 再生利用業者への処理委託量						16.5	2.7	96.1	2.7				14.8	0		0					0	132.8		
⑪ 認定熱回収業者への処理委託量						0	0	0	0				0	24.9		0					8.6	33.5		
⑫ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						0	0	0	0				0	174.6		0					22.3	196.9		
⑬ 当該事業場における排出量						135.2	24.2	617.5	7.5				133.3	374.1		395.6					154.3	1,841.7		
※1 自社の他事業場からの搬入量																								
⑭ 自ら直接再生利用する量																								
⑮ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量																								
⑯ 自ら中間処理する量																								
⑰ ⑱のうち熱回収を行う量																								
※2 自社の他事業場での処理量																								
⑲ 自ら中間処理後の残量																								
⑳ 自ら中間処理により減量する量																								
㉑ 自ら中間処理																								
㉒ 自ら中間処理後の処理委託量																								
㉓ 再生利用前委託量																								
㉔ 最終処分前委託量																								
㉕ 下水等放流前委託量																								
㉖ 最終処分委託量																								
㉗ 直接処理委託量						135.2	24.2	617.5	7.5				133.3	374.1		395.6					154.3	1,841.7		
㉘ B 直接委託処理						14.9	2.2	86.5	0.8				18.7											
㉙ B-1 中間処理委託量						14.9	2.2	86.5	0.8				18.7											
㉚ 再生利用前委託量																								
㉛ 最終処分前委託量																								
㉜ 下水等放流前委託量																								
㉝ B-2 最終処分委託量						120.3	22.0	581.0	6.7				114.6	374.1		395.6					154.3	1,718.6		
㉞ 直接及び自ら中間処理後の処理委託量						135.2	24.2	617.5	7.5				133.3	374.1		395.6					154.3	1,841.7		
㉟ ⑳のうち優良認定処理業者への処理委託量						18.9	2.2	407.5	0.8				18.7	22.4		79.1					7.7	557.3		
㊱ ㉟のうち再生利用業者への処理委託量						14.9	2.2	86.5	0.8				18.7											
㊲ ㉟のうち認定熱回収業者への処理委託量														18.7							7.7	123.1		
㊳ ㉟のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量														18.7							20.1	177.2		